

みんなで耕そう！



NOUFUKU PROJECT

農福現場のトイレについてのアンケートに基づく調査報告

令和5年3月

この度、農業の場において障害等をお持ちの方々が活躍するための、より良い環境づくりを行うことを目的として、ノウフクの現場におけるトイレに関するアンケートを実施しました。アンケート回答にご協力をいただきました全国68か所の事業所の方々に御礼申し上げます。

調査結果により、トイレの環境が農作業を始める意思決定を左右するほどに重要で、トイレの設備や、衛生環境、アクセシビリティといった問題が、障害をお持ちの方々が、安心して働ける環境を構築するうえでの支障になっていることが明らかになりました。

同時に、事業所単位で様々な工夫を講じていること、補助金をはじめとするトイレ環境整備のための課題や、新たなテクノロジーを導入した牽引型のトイレの可能性など、環境改善に向けて様々なヒントを得る機会になりました。

ノウフクの現場においては、限られたリソース等から、大規模にオートメーション化しビジネスとして成立させることは容易ではありません。一方で、ノウフクが農業の課題先進地として、小規模手作業で農業を成り立たせることができる仕組みを作るきっかけになれば、荒廃農地の解消に繋がる可能性があります。

ノウフク・ラボにおいては、今回収集した情報を広く展開し、トイレ環境の改善に向けて役立ててもらうことで、ノウフクに留まらず、農業全般の環境整備に繋がっていきます。

項 目

調査の概要／回答した事業所の基本構成

調査概要

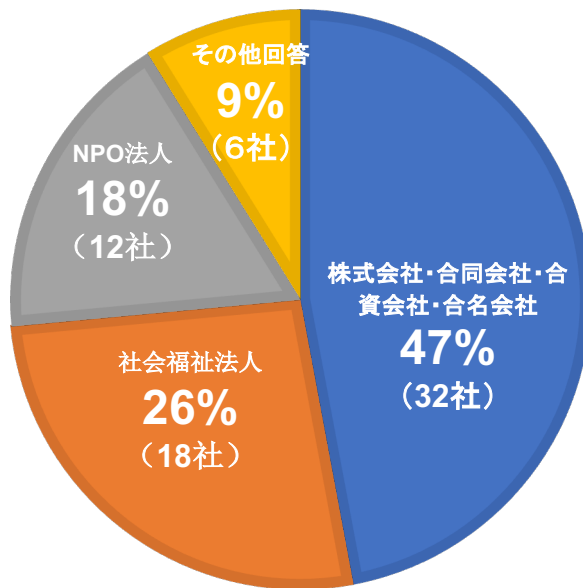
調査の目的：

- ・ノウフク現場のトイレの実態把握
- ・ノウフク現場のトイレの環境改善に向けたアイデア収集

調査時点：令和４年１２月

調査対象：農地を所有または借りて、日常的に障害者が農作業に従事する事業所
（農業法人等含む） → 計６８社が回答（68＝N値）

回答した68社の運営主体



回答した68社のノウフクの取組み形態

取組形態	(回答社数)
①事業所が自ら農地を取得し実施。	13% (9社)
②近隣農家等から農作業を受託（農業法人の場合は委託）して実施	7% (5社)
③農地を借り受けて実施	43% (29社)
上記①②③のうち複数に取り組んでいる	35% (24社)
その他回答	2% (1社)

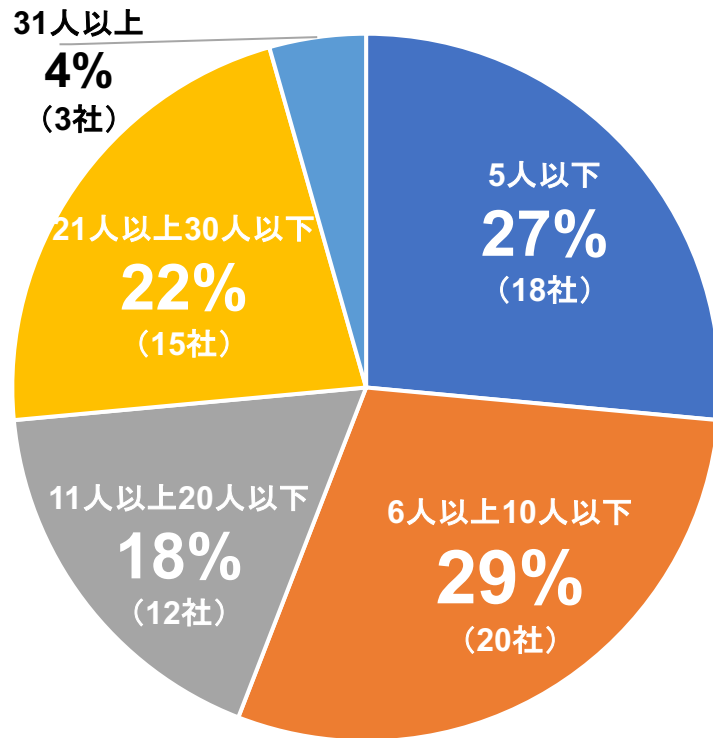
項目

農作業に従事する障害者の構成

ポイント

- ・ 障害者が農作業に従事する 68 社が回答
- ・ 障害者の数は 10 人以下が過半数を占める。
- ・ 男性は11人以上が35％に対して、女性は 2％に留まる。

農作業に従事する障害者の人数



うち身体障害者の数

0人	48% (33社)
1人	27% (19社)
2人	7% (5社)
3人	8% (6社)
4人	1% (1社)
5人	6% (4社)

うち知的障害者の数

0人	6% (4社)
1人以上5人以下	46% (31社)
6人以上10人以下	22% (15社)
11人以上20人以下	16% (11社)
21人以上30人以下	7% (5社)
31人以上	3% (2社)

障害者のうち男性

0人	4% (3社)
1人以上5人以下	34% (23社)
6人以上10人以下	26% (18社)
11人以上20人以下	26% (18社)
21人以上30人以下	6% (4社)
31人以上	3% (2社)

うち精神障害者の数

0人	19% (13社)
1人以上5人以下	52% (36社)
6人以上10人以下	14% (10社)
11人以上20人以下	11% (8社)
21人以上	1% (1社)

障害者のうち女性

0人	24% (16社)
1人以上5人以下	56% (38社)
6人以上10人以下	19% (13社)
11人以上	2% (1社)

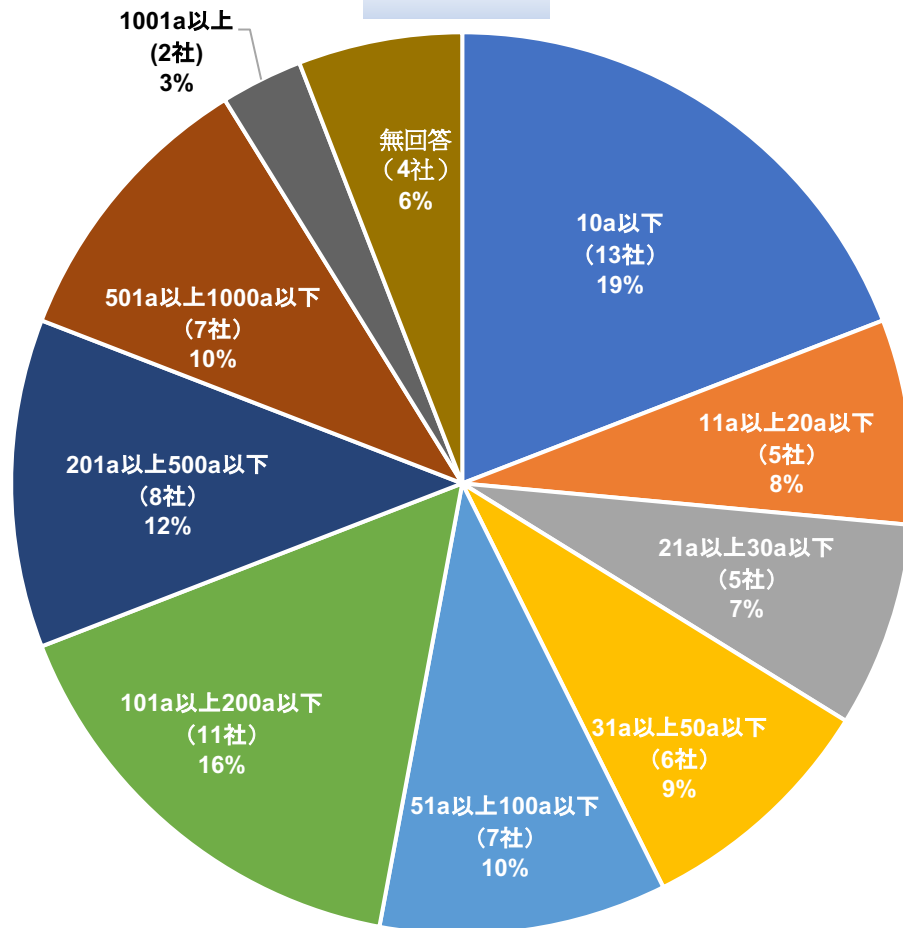
項目

農地の面積／事業所からの距離

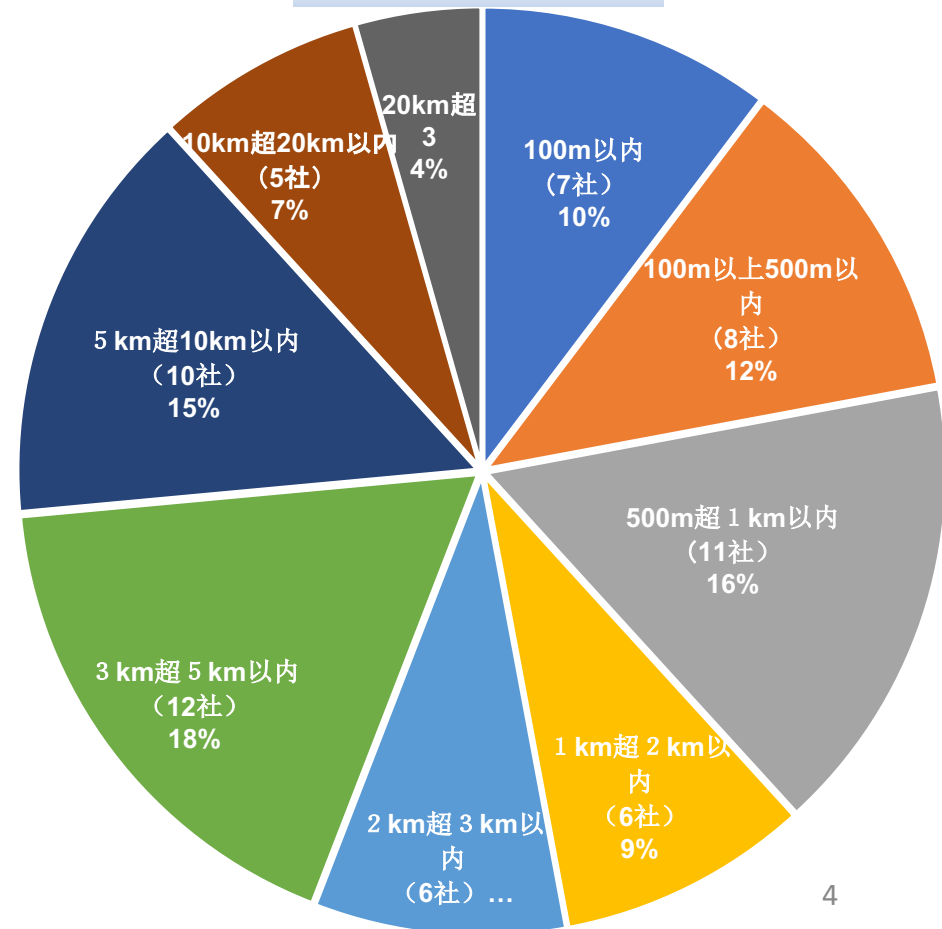
ポイント

- ・ 10a以下の小規模農地が最も多く、100a以下で回答社数の半数超を占める。
- ・ 事業所からの距離は、1 k m超が半分以上。

農地面積



事業所からの距離km



項目

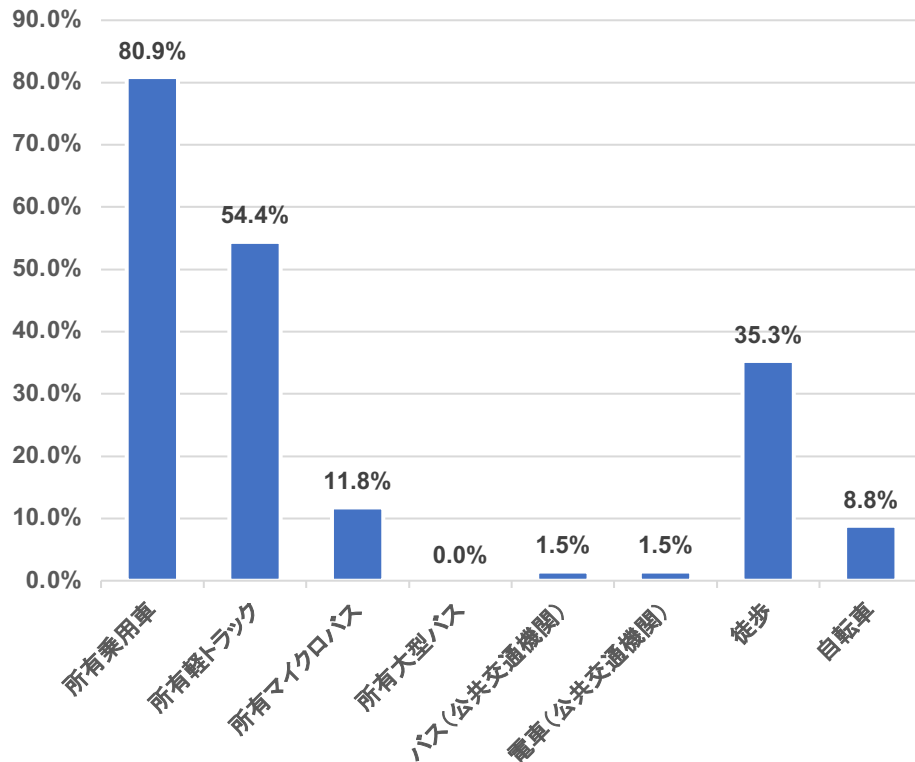
圃場までの移動手段／農作物の品目

ポイント

- ・ 圃場までの移動手段は、所有乗用車、所有軽トラック、徒歩の順が多い。
- ・ 農作物品目は露地野菜、芋類、米・麦・豆類、施設野菜の順が多い。

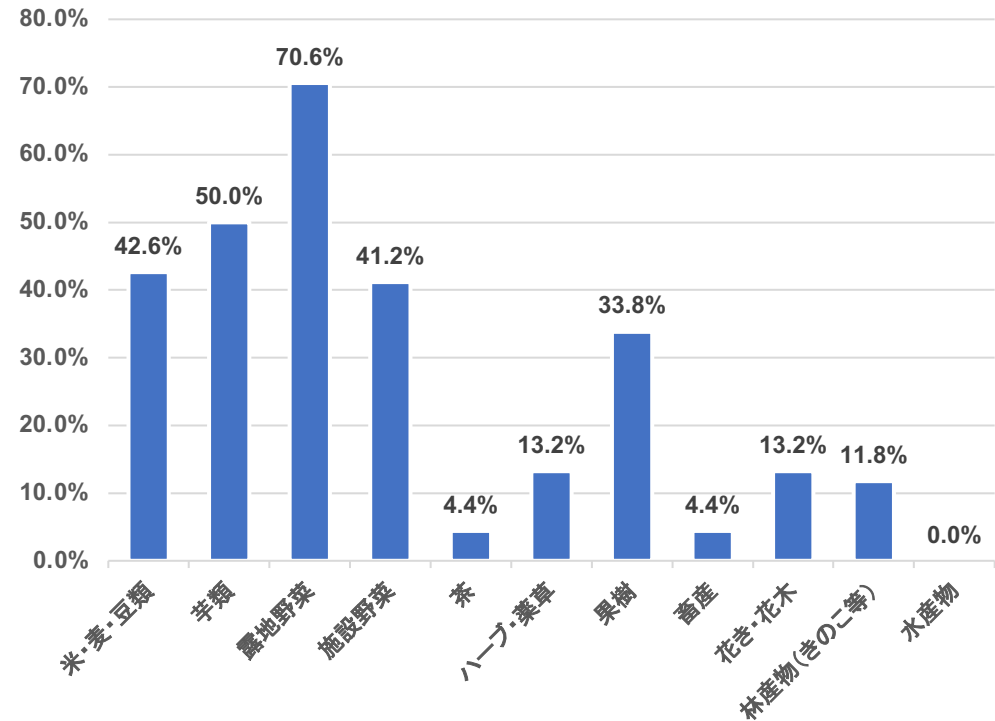
圃場までの移動手段

(複数回答可)



農作物の品目

(複数回答可)



項目

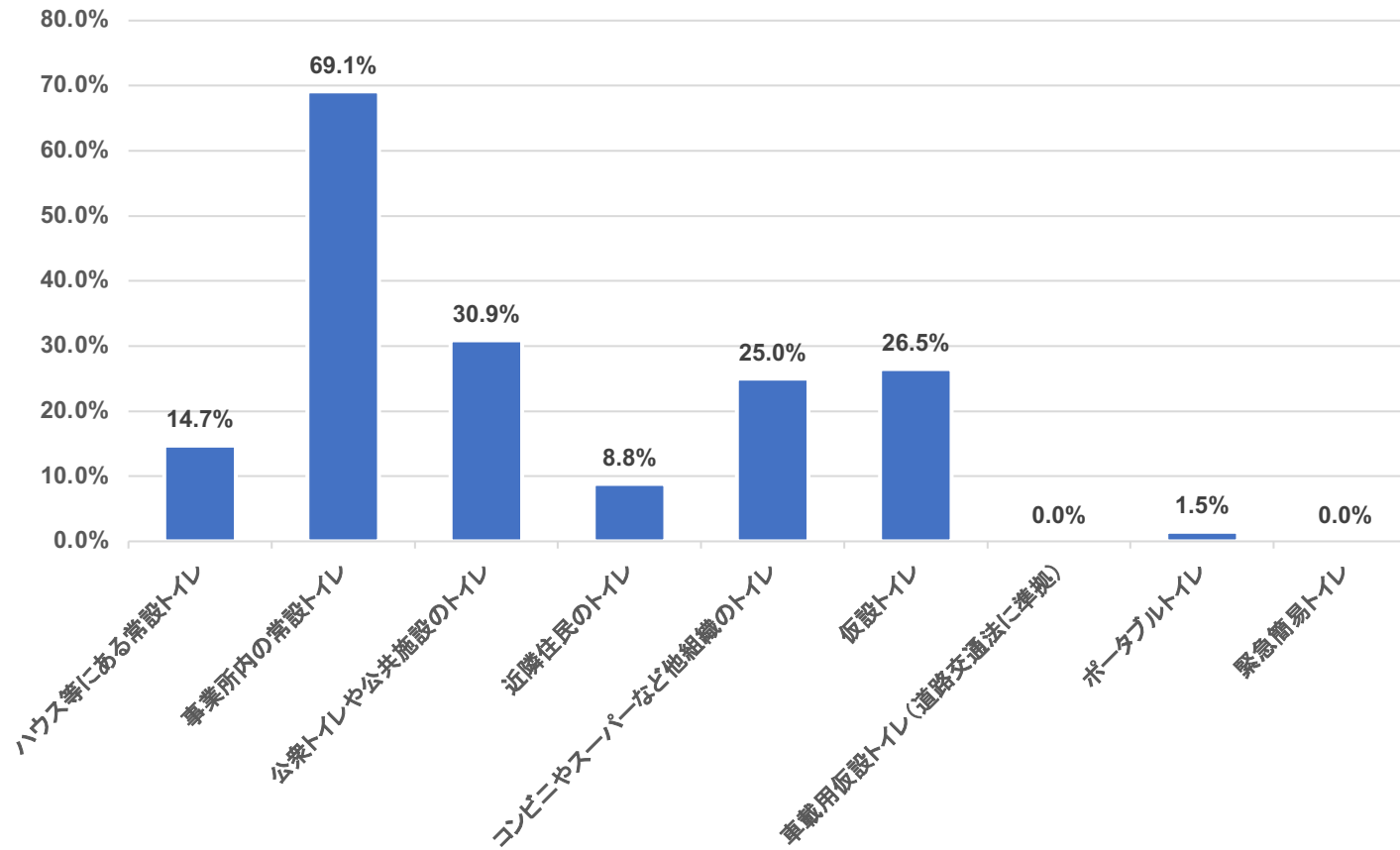
使用しているトイレ

ポイント

- ・事業所内の常設トイレが最も多く、次いで公衆／公共施設のトイレが多い。
- ・非常設トイレとしては、仮設トイレが最も多い。

使用しているトイレ

(複数回答可)



項 目

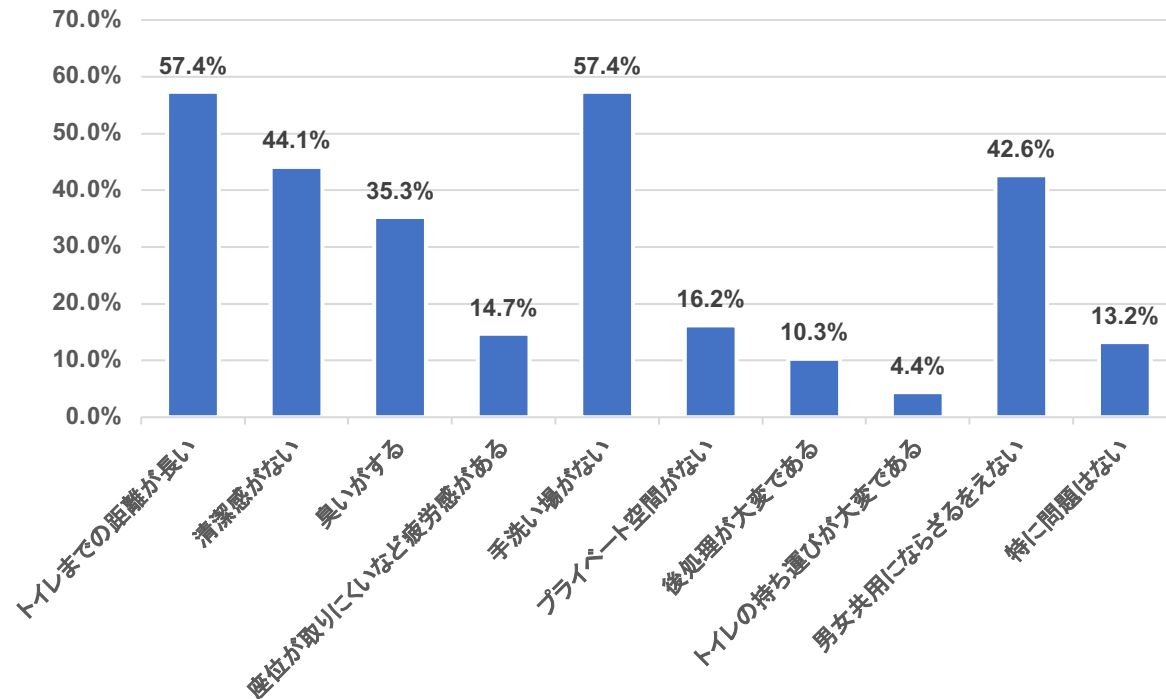
農作業中のトイレの課題

ポイント

- ・課題がないと回答したのは全体の13.2%のみで、8割以上の事業所に課題がある。
- ・トイレの課題としては、距離と並んで、手洗い場がないことが大きな課題。
- ・距離については30分近く要するとの声も。
- ・他に「清潔感がない」、「男女共用にならざるを得ない」も、多数回答あり。

農作業中のトイレの課題

(複数回答可)



課題について、その他の回答

- ・足元が悪い
- ・夜暗い
- ・数が少ない（特にイベント開催時に来園者が多い場合に）
- ・臭いがする
- ・敷設する費用がかかる
- ・市役所の認可が必要（借地のため）
- ・便座が冷たい
- ・座位が取りにくいなど疲労感がある
- ・そもそも農場にトイレがない
- ・トイレの個数が少ない
- ・事業所にしかないで畑では男性は立ち小便、女性は作業前に済ませてもらっている。
- ・近隣施設までの往復だけで30分近く要することがあるので作業の進み具合に影響する。

項目

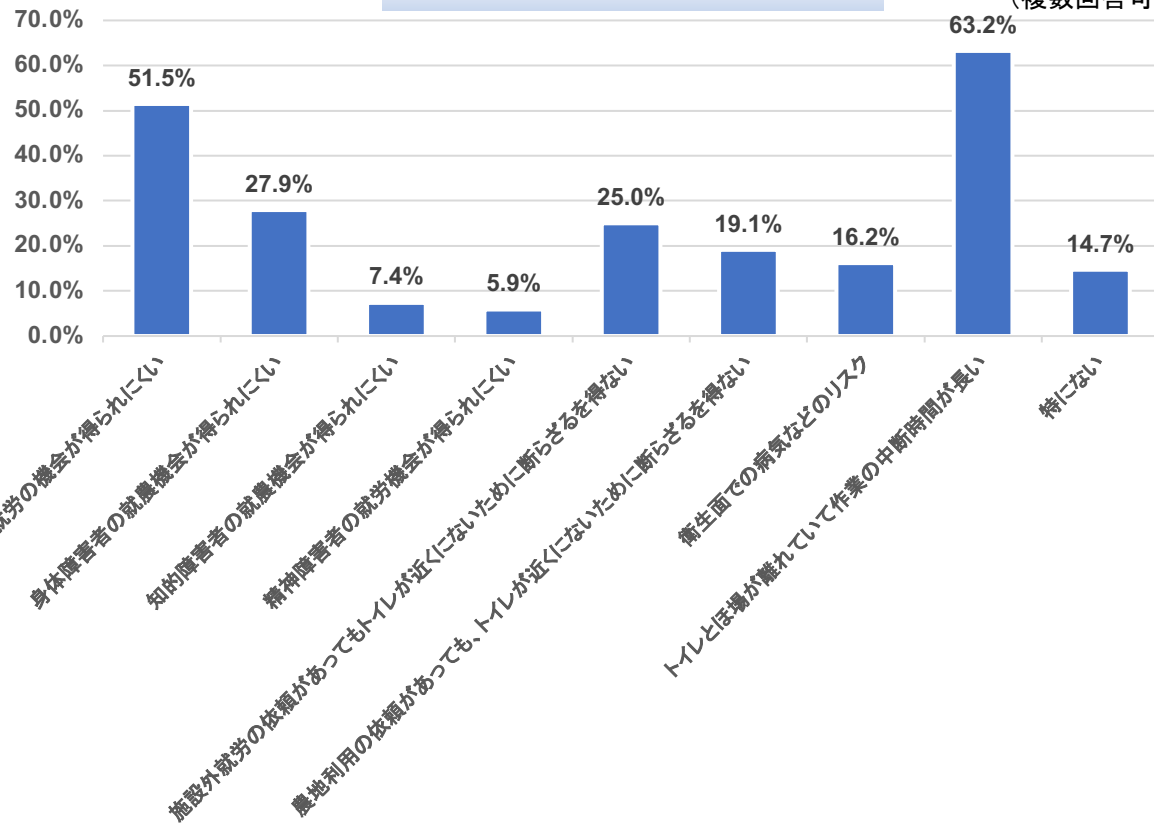
トイレの課題に起因した弊害

ポイント

・トイレに起因した弊害としては「作業の中断時間が長い」、「女性の就労機会が得られにくい」の順に多い。

トイレの課題に起因した弊害

(複数回答可)



弊害について、その他の回答

- ・ 同性職員の支援が必要
- ・ トイレが近くに無い場合、女性スタッフも大変である。
- ・ 子供の農業体験参加に多少不利なケースがある。
- ・ 施設外就労でトイレがない場合、水分等の調整をいただいている。

項目 トイレの課題が原因で実際に農作業を諦めたり依頼を断った経験の有無／例

ポイント

- ・全体で25%が実際にトイレを理由に農作業を諦めたりしたことがあると回答。
- ・トイレが遠方にあたり女性が使いにくいことを理由に断った例が多い

農作業を諦めたり依頼を断った経験

ある	25%	ない	75%
----	-----	----	-----

体験例

- 露地野菜の収穫作業（ブロッコリー）の依頼があった圃場の近くにトイレが無く、片道15分（往復30分程度）の公衆トイレを使用したら依頼主から「休憩時間が長い」とクレームを受け、やむなく断った事があります。その他ではご利用者さんをトイレに連れて行くと他のご利用者さんをみる人がいなくなる為、お仕事を断ったケースがありました。
- 田植えの補助作業の依頼。自宅納屋の外仕事用のトイレを使用して良いと言われたが、半畳の大きさの和式トイレであったため、派遣予定の女性利用者の使用に困難さを感じ依頼を断った。（近隣にコンビニや公共の施設もなかった）
- 農地を借りようとした場合、近隣に事業所を用意できない、トイレが2つ用意できないことがありその農地を断った。
- 農家からの作業依頼があったが、コロナのピーク時にコンビニのトイレが使用できない時が続いた頃、いくつかの依頼を断ったことがある。
- 事業所から車で20分の山中で高齢農家が行う原木シイタケの圃場でのシイタケの世話、収穫を断った。トイレ環境は劣悪、スマホの電波も届かない場所で改善の見込みがないため断った。
- トイレが近づくにつれて作業の中断時間が長くなる時は、相手にも迷惑がかかるので初めから断っている
- 女性の希望者があったが、トイレがないので断る
- 知的障害の1名（自ら訴えることが難しい者）が間に合わずに漏らしたことがあり、処理・対応に時間をとられた
- 作業時間内にトイレに行くことを嫌がれる農家がある。生理的面から女性は特に対応出来ない。
- 近くにトイレがなかったため。
- 出来高の仕事の場合に、トイレまで自動車で移動する事があり、時間がかかるために仕事はかどらずに工賃が伸びないから。
- 利用者さん、職員希望者からもウオッシュレスが希望との理由から断ったことがある。
- 収穫作業の依頼があり、トイレの利用提供またトイレへの移動時間に難色を示される状況があり、お断りした。
- 畑作業の手伝い（運搬作業や収穫手伝い等）を依頼されたが、担える利用者がトイレに行く回数が多い方で、その現場にトイレが無く、少なくとも2時間は我慢をしなければいけないため、断ったことがある。
- こんなにやく芋堀や養蚕での作業（上族作業）で、近くにトイレが無いため職員の対応が困難だったため断った。
- 若い女性（きれい好き）が、トイレや休憩所が綺麗でプライバシーが守られれば畑に行きたいと言われたが、仮設トイレは、綺麗だが手洗い場はなく、プライバシーの面では畑でトイレの出入りがわかる（利用時間がわかる）などの難があるので畑就労をお断りした。
- 施設外就労として行っているものは、強いことが言えないので我慢しています。

項目

課題に対応した独自の工夫

ポイント

・独自の工夫として、清潔感を保つ工夫や、近隣のトイレの活用方法や、性別に配慮したトイレの整備などが挙げた。

課題に対応した工夫

- ・自治体と協議し公共施設のトイレを借りている。
- ・事務所を出る前や圃場の近くのコンビニでトイレに行く必要があるか否かを確認している。
- ・各ハウスに仮設トイレを設置。毎日の掃除や消臭剤を置き対応。
- ・近隣の空き家を購入。
- ・山の中の事務所のトイレだが、ウォシュレットを搭載し、気持ちよさ、清潔感、トイレをすることを心地よくなる環境を整えている。
- ・作業時間の単位を短くして早めにトイレ誘導するようにしている。
- ・建物内の常設トイレの頻繁な掃除。
- ・車いすの方も通所されており、その方が通所の時には近くの多目的トイレに行っています。
- ・男性用、女性用、男女兼用と3部屋設けています。
- ・距離が近いので今のところ問題ないが、現場に行く前に用を足してから行くよう促している。
- ・男子が多いため、混み合うときは女子用も男子に開放している。
- ・最低でも10km圏内に利用可能なトイレを確保、把握して作業を行う。
- ・男性用、女性用を別に2つ、用意している。
- ・表示をし、女性と男性が一緒にならない様にしている。
- ・自社圃場は、会社周辺に集積するよう工夫している。施設外の場合は、事前打ち合わせで、トイレを借りることが可能な場所（コンビニ、依頼主事務所等）を確認し、利用者が困らない工夫をしている。
- ・仮設トイレ内をこまめに洗浄し、衛生面や臭いで問題が出ないようにしている。
- ・現状は自社農場にトイレがないため、車で300m程にあるトイレまで行っています。現状は課題解決には至っておりません。
- ・男女別に2台設置。
- ・公衆トイレやコンビニのトイレをお願いして使用させて頂いています。
- ・水洗兼用のトイレを開発してほしい。
- ・町の農作業倉庫がありそこにトイレがあるので使わせてもらえるよう交渉しようとしている。しかし不潔で汚いので改修まで行わないと使えないため、話が進んでいない。
- ・農場に仮設トイレを設置。
- ・当番制により清掃、管理。
- ・圃場近隣の農家さんのトイレ利用。
- ・現在、農地に常設トイレを建設中です。
- ・交代で清掃して清潔を保つ、女性用バイオトイレを助成金を活用して入手。
- ・圃場の近隣へ事務所を構える。
- ・1時間ごとにトイレ休憩を必ず設けている。女性支援員に対応をお願いしている。
- ・香川は面積が狭いので、車で10～15分走れば公共・公衆建物、大型店舗、コンビニ等があります。
- ・作業に出る前にトイレに行くよう都度声掛けをしている。
- ・公共のトイレを利用することが多いので、予め時間を決めてトイレ休憩を多めにとっている。
- ・男女兼用のシールをトイレに張ったらLGBTの人に喜ばれた。
- ・消臭剤設置。
- ・各拠点に仮設トイレ設置。

項 目

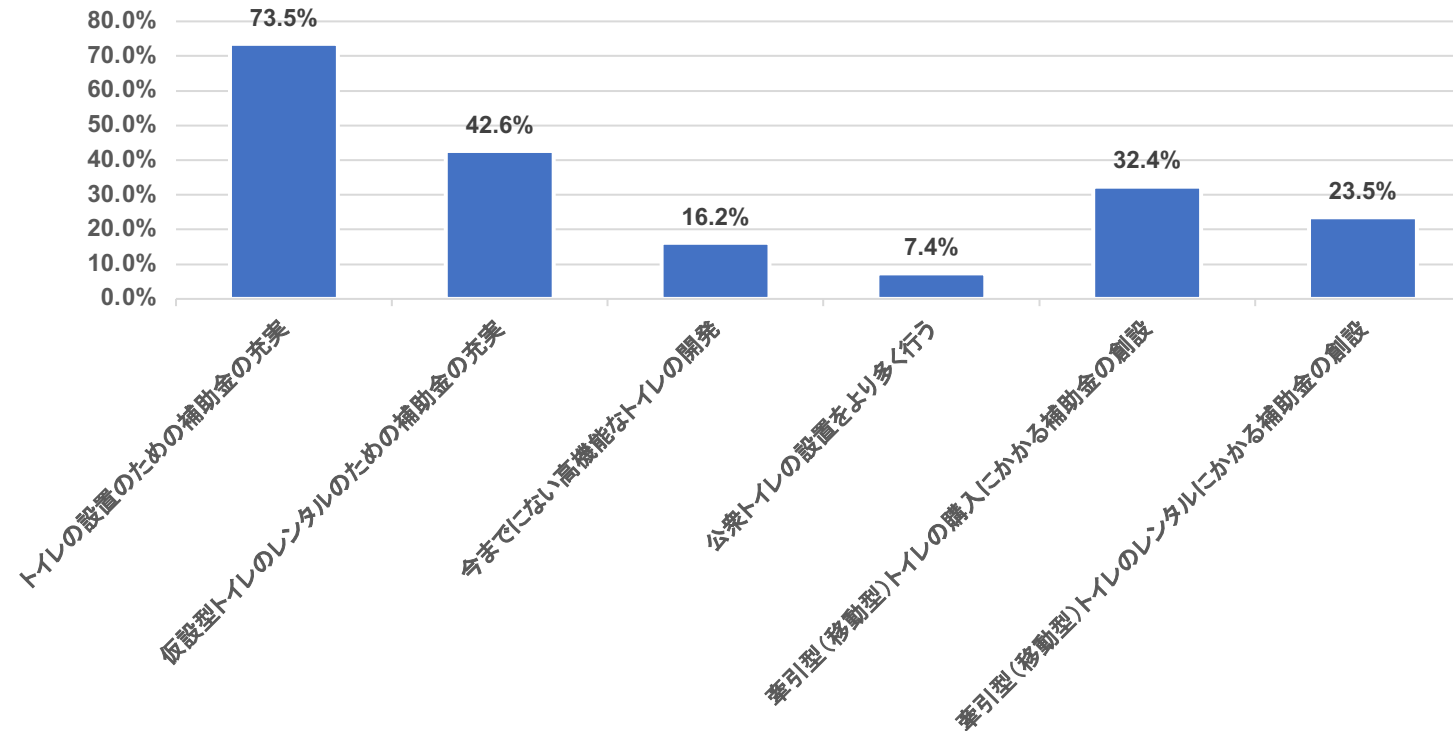
トイレ課題の解決策

ポイント

- ・設置やレンタルなど、補助金の充実を希望する声が多い。
- ・その他の回答に、仮設トイレの維持管理に係る費用の補助金ニーズあり。

トイレの課題解決策

(複数回答可)



項 目

トイレ課題の解決策

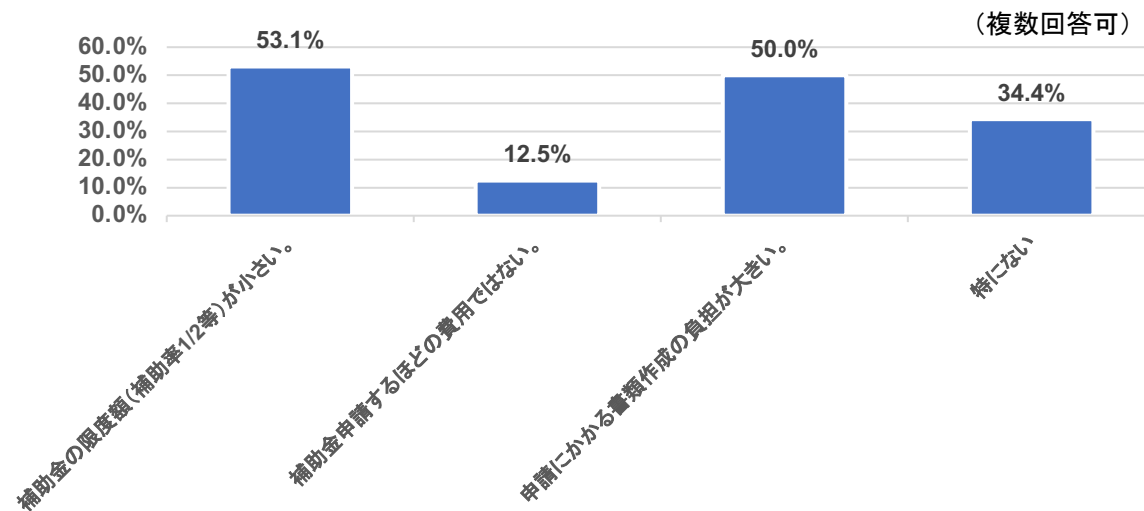
ポイント

- ・トイレに農山漁村振興交付金を使用した経験のある事業所は3%に留まる。
- ・知っていても使ったことがなく、理由としては、補助率と申請負担が主な背景。

農山漁村振興交付金を知ってるか

知らない	50%
知っているがトイレの整備のためには使ったことがない。	47%
知っていてトイレの整備のために使ったことがある	3%

知っているがトイレの整備に補助金を使ったことがない理由



項目

トイレ課題の解決策

ポイント

- ・ 安価であれば利用ニーズはある（購入最高額は100万円～200万円）
- ・ 求める機能は、洋式、水洗、手洗い場、男女別スペースの順番。

いくらであれば牽引型のトイレをレンタルするか

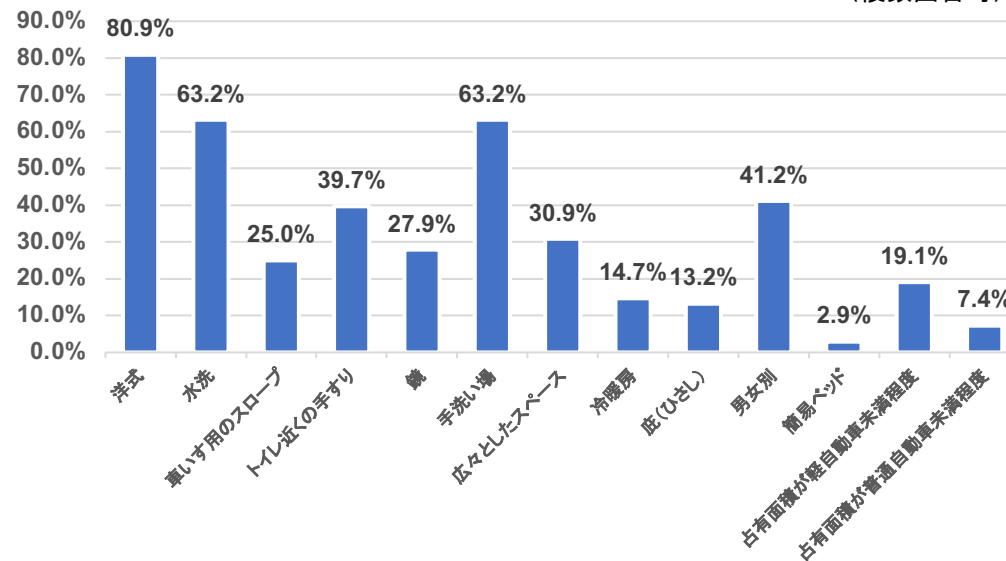
～3000円未満／1日	46%
3000円以上5000円未満／1日	7%
5000円以上1万円未満／1日	1%
いくらでも借りない	46%

いくらであれば牽引型のトイレを購入するか

50万円未満／1台	43%
200万円以上300万円未満／1台	2%
50万円以上100万円未満／1台	9%
100万円以上200万円未満／1台	3%
いくらでも購入しない	43%

牽引型トイレに求める機能

(複数回答可)



項目

牽引型トイレの活用策

ポイント

地域コミュニティの創出や、災害時の利用に関する声が多い

牽引型トイレの活用策

- ・トイレ社会やコミュニティに効果。
 - ・災害時には有用と思います。
 - ・清潔で広く車いすでも使用可能なトイレとても良いと思います。
 - ・お花見等も安心して企画出来ると思います。
 - ・全ての活動が場所を選ばず実施できる。
 - ・災害時、避難所等で地域に貢献できる。
 - ・農業とともに地域活動で使う。
 - ・ソーラシェアリングとの融合で、災害時の拠点となる。
 - ・外出時、特にトイレを必要とする方の活動範囲が広がる。
 - ・障害者の活動範囲が広がる。
 - ・女性の農業への参入者増加。
 - ・災害の場合は、地域の方にも利用してもらえる。
 - ・地域の人にも利用して頂ける。
 - ・トイレは誰もが利用するものであり、誰でも利用できる環境であってほしいと思う。
- そのためには「いつでも」「どこでも」という課題が付きまとうが、移動型（牽引型）トイレであればそれを補える可能性があるため、多くの方の安心感を創出できる画期的なツールであると思う。
- ・畑での収穫体験等がしやすくなるため、観光とのコラボがしやすくなる。
 - ・地域住民の散策時などの使用。
 - ・屋外でのイベントや地域交流の活性化。
 - ・災害時に協力し合える。
 - ・廃校を利用した観光農園で活用すれば、地域活性化に寄与する。
 - ・様々な人が便利になる。
 - ・非常時に提供することで地域住民に大いに貢献できそうである。
 - ・地域農家との共用により地域と事業所でのコミュニケーションの創出が可能。
 - ・災害等での利用が考えられる。
 - ・トイレの設備のない圃場での作業を請け負うことができ、荒廃農地の減少に繋がるのではないかと。
 - ・地域祭事等で貸出す事で地域共生の一助となる。
 - ・地域の農家さんたちも一緒に使えると毎回自宅に帰る手間が省ける。

- ・地域でのイベントなどで移動型トイレを通して障害者が持つ特性を理解していただき、事業所と地域が助け合える関係づくりにつながる可能性がある。
- ・トイレが近くにないと困る人たちがいるといことの啓蒙効果。
- ・移動型トイレは無償で提供してほしい。予算をとってほしい。買わせる考えを捨ててほしい。
- ・おむつ使用中の障害のあるお子さんの外出が気兼ねなくできるようになる（おむつを使っているだけで放課後等デイケアの利用を断られた知人がいる）。
- ・災害や緊急時などは法人内での利用で手一杯と思われる。
- ・災害時などの事業所の空間貸し出しに非常に効果を感じます。
- ・地域イベントで使える。
- ・施設外就労の現場ではもちろん、イベントや災害時にも活用できる可能性があるなど、意外と用途は広いように感じる。また作業現場では「近くにトイレがある」事はご利用さんにとって大きな安心感に繋がり仕事をし易い環境づくりに寄与すると思います。何よりトイレが無い職場はあまり聞かないと思いました。
- ・災害時に有効。
- ・イベントなどで、障がいを持った方が利用しやすくなる。
- ・地域イベントに出店時に利用できるとよいと思う。
- ・健診時などトイレの無い時に設置することで、地域貢献が可能。
- ・農業体験イベント実施時に、場所を選ばず利用できる。
- ・近隣の農家も使用できることで障害福祉の啓発に繋がる。
- ・移動式トイレの貸し借りで地域とのコミュニティの創出につながる。
- ・新しいコミュニティやヒトとヒトの繋がりなどはできるかも知れない。
- ・災害時に活用できる。
- ・災害時やイベント等でトイレに気を使わないで使用できると職員の負担が大きく軽減されると思う。ただ、管理や費用面等を想像すると無くてもいいかなと思ってしまう。
- ・移動型のトイレを導入することで、これまで活動を断念していた地域での活動が可能となり、新しいコミュニティの創出につながると思う。
- ・提携先農家の雇用促進、若者アルバイトなども雇用しやすくなる。
- ・災害時やイベント時などに大いに活用できると考えていました。

みんなで耕そう！



NOUFUKU PROJECT

ノウフク現場におけるトイレ課題の解決策

項目

トイレの種類別の課題

ポイント

使用しているトイレ（P6）と、農作業中のトイレの課題（P7）の回答をクロス分析することで、どのトイレにどのような課題があるか、傾向を探る。

各トイレの抱える上位2つの課題をオレンジで色付け。トイレの種類等に応じた課題があることが分かる。

		ハウス等にある常設トイレ	事業所内の常設トイレ	公衆トイレや公共施設のトイレ	近隣住民のトイレ	コンビニやスーパー など他組織のトイレ	仮設トイレ	ポータブルトイレ
トイレまでの 距離が長い	該当しない	5	19	4	0	3	11	1
	該当する	5	28	17	6	14	7	0
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	50.0%	59.6%	81.0%	100.0%	82.4%	38.9%	0.0%
清潔感がない	該当しない	1	27	7	2	10	4	1
	該当する	9	20	14	4	7	14	0
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	90.0%	42.6%	66.7%	66.7%	41.2%	77.8%	0.0%
臭いがする	該当しない	1	32	14	3	11	3	0
	該当する	9	15	7	3	6	15	1
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	90.0%	31.9%	33.3%	50.0%	35.3%	83.3%	100.0%
手洗い場がない	該当しない	6	39	13	5	11	10	1
	該当する	4	8	8	1	6	8	0
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	40.0%	17.0%	38.1%	16.7%	35.3%	44.4%	0.0%
男女共有にならざるを得ない	該当しない	2	27	10	2	8	6	1
	該当する	8	20	11	4	9	12	0
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	80.0%	42.6%	52.4%	66.7%	52.9%	66.7%	0.0%
特に問題はない	該当しない	9	39	21	6	15	18	1
	該当する	1	8	0	0	2	0	0
	総計	10	47	21	6	17	18	1
	該当する割合	10.0%	17.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%

項目

トイレ課題の解決策

ポイント

万能なトイレはなく、予算や、圃場の状態、利用者などによって解決策は異なる。

理想のトイレはひとつではない（下表はイメージ）



	費用	可搬性	後処理	快適性	清潔感
仮設トイレ	○	△	○	○	○
ポータブルトイレ	◎	◎	△	○	○
緊急簡易トイレ (ビニール袋)	◎	◎	△	△	△
牽引型トイレ	△	○	○	◎	◎
公衆トイレ	◎	×	◎	○	○

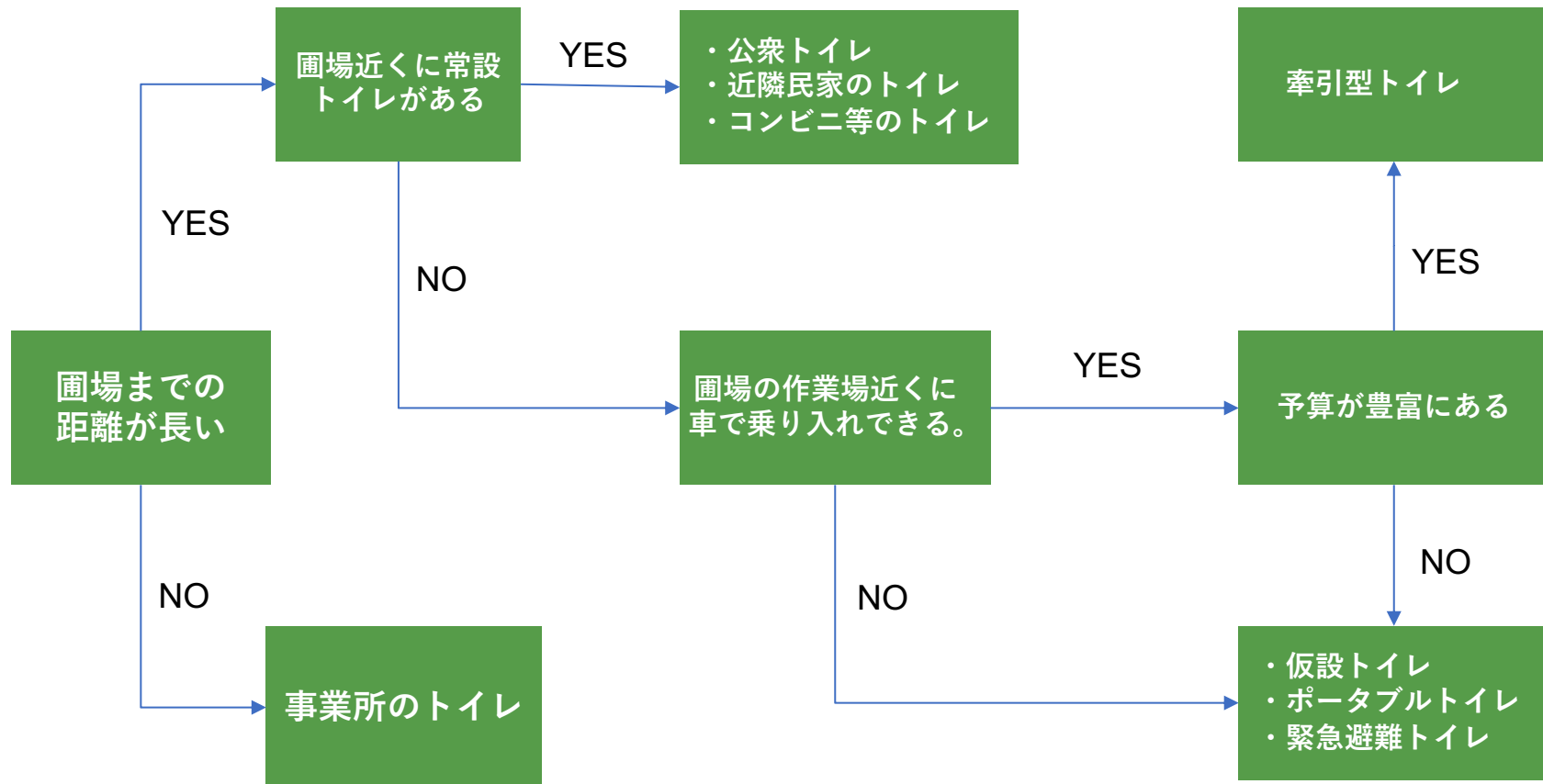
項目

トイレ課題の解決策

ポイント

万能なトイレはなく、予算や、圃場の状態、利用者などによって解決策は異なる。

理想のトイレは状況・事情によって異なる（下表はイメージ）



項目

トイレに関する象徴的な工夫事例①

事例名

女性に配慮したバイオトイレ

圃場住所

千葉県我孫子市布佐845-1

事業所からの距離

500m程度

トイレの形態等

バイオトイレ
「バイオミカレット」

従事する障害者の人数

16人（近年、女性社員が増加）

補助金使用

女性が変わる未来の農業推進事業

https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4yokyu_pr63.pdf

事業者名

帝人ソレイユ株式会社

所在地

千葉県我孫子市

エピソード

我孫子農場では社員が増えたことにより、既存のトイレ（簡易トイレ×2台）に対して社員（特に女性）から以下の苦情が出始めていた。

- ・混雑して入りたいときに入れないのはイヤだ
- ・男性と女性が共用するのはイヤだ
- ・簡易トイレの臭いがイヤだ

⇒マイファーム社の担当者から本補助金の存在を教えてもらい、新たに建設。バイオトイレで臭いが抑えられて清潔感があるのが特徴。



項目

トイレに関する象徴的な工夫事例②

事例名

農地に常設トイレを建設

圃場住所

和歌山県御坊市塩屋町南塩屋

事業所からの距離

2 km程度

トイレの形態等

一坪型の汲み取り簡易トイレ

従事する障害者の人数

基本2人。収穫時は6人。塩づくりが主体で農業は合間。

補助金使用

無

事業者名

太陽福社会菜の花作業所

所在地

和歌山県御坊市

エピソード

事業所から距離があり、トイレ環境の整備を検討。当初、農水省の助成申請をしたものの、採択されなかったため、自前で建設（費用は約130万円）。洋式トイレでスペースがあり、内装も綺麗に整えており、誰にとっても使い勝手が良いトイレを目指した。塩づくり作業場と圃場は隣同士。



項 目

トイレに関する象徴的な工夫事例③

事 例 名

多様性に配慮したトイレ

圃 場 住 所

静岡県浜松市南区鶴見町

事業所から
の 距 離

200m程度

トイレの形態等

個室水洗トイレ

従事する障
害者の人数

22名

補助金使用

無

事業者名

京丸園株式会社

所在地

静岡県浜松市南区鶴見町

エピソード

もとは男女の区別はなく、増設。新しい作業場に作る時に、女性用、男性用、共用の3タイプを設置することに決めた。作業場は女性が多いが、男性用があれば男性も気にせず入れる、そして共用は特別LBGTQの方を意識したわけではなかったが、「男女兼用のシールがあると使いやすい」とLGBTの方から喜ばれた。なお、トイレは毎朝社長が清掃している。



項 目

トイレに関する象徴的な工夫事例④

事 例 名	リースによる仮設トイレ設置
-------	---------------

圃 場 住 所	広島県東広島市河内町戸野
---------	--------------

事業所からの距離	車で40分程度	トイレの形態等	汲み取り 和式トイレ
----------	---------	---------	---------------

従事する障害者の人数	15名
------------	-----

補助金使用	無
-------	---

事業者名

アソシエイト・ファーム株式会社

所在地

広島県東広島市黒瀬町

エピソード

仮設トイレについて、通年に渡って利用するわけではないため、リースにより必要時に必要箇所に設置している。リースのため、掃除や設置の負担が軽減される。
和式トイレで障がい者の方の利用には不向。また、リースが補助金対象外であるため（当時）、費用負担は大きい。



項 目

先進的な牽引型トイレの事例

事 例 名

モバイルトイレ（3号）

メーカー

トヨタ自動車株式会社

牽 引 車

普通自動車

トイレの形態等

洋式水洗トイレ

主 要 設 備

手洗い場

ストレッチシート

緊急時ボタン

大型ゴミ箱

スロープ

手すり

エアコン

カーテン

清水タンク

The exterior of the toilet is easy to recognize, and it blends in well with others in a city and its design.



外観は、トイレと一目で分かり、
街に馴染み、気兼ねなく入れるデザイン

サイズ等

サイズ：全長3000mm×全幅1890mm×全高2270mm 重量：750kg以下

エピソード

トヨタのモバイルトイレ3号車。1号車・2号車よりもコンパクト化し、普通自動車での牽引を可能にした一方で、中央は車いすの方が360度、転回できる広々とした空間が確保されている。

トイレのない観光地やイベント会場、突然の災害時など、平時、有事を問わず、さまざまな場所で利用できる。EVからの給電で、電力の無い場所でも一定時間仕様可能。上下水道直結も可能。

The interior is hygienic and comfortable.
Wide enough for wheelchairs to turn around.
The universal seat, the large rubbish bin and other attentive features are installed.



ユニバーサルシートや大型のごみ箱など
使いやすい機能を備えています。

項目

牽引型トイレのニーズ詳細

ポイント

牽引型トイレのニーズ（P13）を使用するトイレ（P6）とクロス分析すると、自ら仮設トイレ等を設置せずに、公衆トイレや民間施設のトイレを利用している事業所について、牽引型トイレのニーズが高く、導入による圃場拡大可能性も期待される。

仮設トイレをすでに設置、事業所の常設トイレを利用している事業所に比べて、「トイレを借りている」場合は、相対的に牽引型トイレのレンタル・購入ニーズが高い。
また、「トイレを借りている」場合、公共施設の場合よりも民間施設を利用している事業所のほうが、相対的に牽引型トイレのレンタル・購入ニーズが高い。

利用するトイレ	レンタルニーズあり
公衆トイレや公共施設のトイレ	61.9%
コンビニやスーパーなど他組織のトイレ	76.5%
仮設トイレ	44.4%
事業所内の常設トイレ	51.1%

利用するトイレ	購入ニーズあり
公衆トイレや公共施設のトイレ	76.2%
コンビニやスーパーなど他組織のトイレ	87.5%
仮設トイレ	44.4%
事業所内の常設トイレ	60.9%

上記のとおり、事業所の常設トイレを利用している事業所については、仮設トイレの利用に比べて購入ニーズが高い→事業所の常設トイレを利用している事業所は、圃場までの平均距離が3.3km、それ以外の事業所は11.5kmであることから、牽引型トイレの購入により、より遠くの圃場への作業開拓を考えている可能性がある（牽引型トイレ導入による圃場の拡大可能性）。

	圃場までの平均距離
事業所内の常設トイレを使用	3.3km
上記以外	11.5km

牽引型トイレについては、農山漁村振興交付金における農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）において、令和5年度より、補助対象に「移動可能なトイレのリース導入に必要な経費」が追加された。

本調査を踏まえた牽引型トイレのニーズを踏まえると、補助金を活用した牽引型トイレの導入は、農福連携を推進する一助になることが期待される。

（農山漁村振興交付金）

https://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/noufuku/attach/pdf/noufuku_R05koubo-1.pdf?fbclid=IwAR26NIU_b_Dj83SGhGWmZfAvdw7JwFKJj7qLTNMQoObUBCLcdeGMKgWZmO4

みんなで耕そう！



NOUFUKU PROJECT

農福現場のトイレについてのアンケートに基づく調査報告

企画	ノウフク・ラボ
制作	一般社団法人日本基金
制作支援	神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授 川本健太郎 金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科准教授 橋川健祐